

(様式4a 号)

患者さんおよび患者さんのご家族の方へ

このたび当院では、以下の臨床研究を、滋賀県立総合病院倫理委員会の承認を受け、かつ病院長の許可のもと実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

本研究の対象者に該当する可能性がある方やそのご家族の方で、ご質問がある場合、またはこの研究への参加を希望されない場合は、下記の担当者までご連絡ください。なお、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受けるうえで不利益が生じることはございません。

【研究課題名】

間質性肺炎患者における BI-d 得点に関連する要因の検討

1. 研究の意義・目的

間質性肺炎(以下、IP)は肺泡隔壁を炎症や線維化病変の基本的な場とする疾患の総称であり、呼吸困難感、運動耐容能の低下、日常生活動作(ADL)制限を生じる。呼吸リハビリテーションに関する文献においても、呼吸リハビリテーションの評価で ADL は“必須”の評価とされ、IP 患者においても ADL 評価は重要となっている。近年、慢性呼吸器疾患に対する ADL 評価尺度として Bathel Index の呼吸器版である Bathel Index dyspnea(以下 BI-d 歩行など各動作時に生じる息切れの程度の指標)が新たに発表されたが、慢性呼吸器疾患の中でも慢性閉塞性肺疾患での使用報告が主であり IP に限った関連の報告は少ない。また、当院ではこれまで IP 患者に対し呼吸疾患に局限した ADL 評価を実施していなかったが、今回 BI-d を用いて ADL 評価を取り入れた。本研究では BI-d 得点と各評価項目との関連を明らかにし、IP 患者の ADL 評価における BI-d 使用について検討し、今後詳細な患者評価につなげることを目的とした。

2. 研究方法

電子カルテ上のリハビリテーション介入時の評価内容からデータを取得。

3. 対象となる方

2025 年 8 月から 2026 年 4 月に当院に入院されリハビリ処方が出た間質性肺炎患者の方

4. 利用する試料・情報

電子カルテ上の診療録から ADL、身体機能評価項目(BMI、mMRC、peak flow、握力、膝伸展筋力、片脚立位時間、SPPB、6 分間歩行、CAAT)を取得。

5. 研究期間

倫理委員会承認日～(終期) 令和 9 年 3 月 28 日

6. 個人情報の取扱い

測定データは院内パソコンのエクセルデータとして G-Board 内でのみ保管します。研究発表に用いられた紙面の試料や情報は終了後『人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針』に沿って適切な期間をおいて廃棄します。

7. 費用および謝金等

費用及び謝礼金の発生はありません。

8. お問い合わせ先

077-582-5031

滋賀県立総合病院 リハビリテーション科 奥村 将太(おくむら しょうた)